

大分県PTA



発行所 大分市下郡字長谷498の38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 ☎(097)556-9055 http://www.oita-pta.com/ 責任者 池内晴一 印刷所 大分市金池町5丁目7番18号 大分出版印刷



http://www.oita-pta.com/

第32回 大分県 PTA 広報紙コンクール 県知事賞に「南風」 佐伯市立 佐伯城南中学校PTA

～これぞ広報紙 他校の模範に～



講評する帆足審査委員長



県知事賞表彰をうける佐伯城南中代表



喜びの受賞者

第32回 大分県PTA広報紙コンクール入賞校

Table listing award winners: 県知事賞 (南風), 県PTA連合会長賞 (わさだ), 県議会議員賞 (滝尾つ子), 大分合同新聞社賞 (きずな PRESS), 県教育長賞 (ふたば), 県中学校長会長賞 (会報 みくま), 大分朝日放送OAB賞 (新しんぼう風), etc.

おめでとうございます

優良賞 (順不同)

Table listing other award winners: 緑ヶ丘中, 北居小, 鶴居小, 上野ヶ丘中, 大東中, etc.

目をひく見出しと わかりやすい紙面に工夫

第32回大分県PTA広報紙コンクールに、県内の小・中学校より132点の応募があり、4月2日の審査会で入賞49点の応募があり、表彰式は、4月16日に県教育会館で行われ約80名が出席した。

紙面づくりのアドバイス

表彰式では来賓、受賞校代表者が出席する中、池内晴一県PTA連合会長が「携帯電話などの今日的な問題を取り入れた紙面づくりから、P会員の問題意識を高めようとする姿が伝わってくる。子どもたちの健全育成のため、寄与できるようにさらなる努力をお願いしたい」とあいさつした。

審査員 帆足三郎 (委員長) 大分合同新聞文化センター 前顧問 安部崇夫 大分県広報教育研究会長 森崎純次 大分県教育庁広報広聴班参事 岩尾淳一 大分県PTA連合会「はくく美」顧問 池内晴一 大分県PTA連合会長

審査方法・基準 5人の審査員が1人10点の持ち点で1次審査。集計をもとに審査員の協議による2次審査で各賞を決定する。

寸研心北 今年の全国一斉学力テストに、文字と行の中心(小6)、点画の連続と省略(中3)の書写力を問う設問があった。

編集 編集日に全員が集まらなくても、各々が得意な所を分担してやってほしい。編集は苦勞も多いができた紙面を見るよかったです。

お知らせ ☆第32回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版 県内の各小・中・特別支援学校の広報部には1冊贈呈しました。

受賞校のノウハウは? 県知事賞の佐藤英子佐伯市立佐伯城南中学校広報部長は「保護者の関心を学校に向け紙面づくりを学校にむけてのきつかけになるようにしたい。また、広報部だけでなく他の部との連携が必要だと思ふ」と広報紙づくりに対する気持ちと今後の課題について語ってくれた。



「いいのちの星」推進事業 活動報告(1)

「いいのちの星」を感じる活動を

単P活動活性化に10万円

平成19年10月27・28日、第52回九州ブロックPTA研究大会大分大会が開催された。大会記念行事として、県内72名の子どもたちが出演したミュージカル「こは命の星」を上演し成功を収めた。

事業の内容は、基金の趣旨に添った「いのち」に関するもの(飼育活動・栽培活動・郷土芸能・自然環境・食育など)を中心活動にして活性化を図るものとされている。今回、平成20年度に選考された23事業の中から活動を始めている3つの取り組みを紹介。今後も順次掲載していく。

親子で体験 地域の文化と自然

宇佐市立院内北小学校PTA



親子で石橋を見て研究

宇佐市立院内北小学校PTA A(小野裕喜会長 児童数70名)に話を聞いた。児童と大人が自然の中で体験しながら父親の持つ技術や地域の伝統・文化を子どもに伝えようと、父親部が主体となり「親子ふれあい体験教室」を開いている。

年間のテーマを決め、定期的(年6回)に体験教室を開き、夏休みには地区内2つの公民館と共催で第1回の体験合宿(1泊2日)を行った。今年度のテーマは校庭の一角に石橋とピオトープを造ること。公民館からの助成や無償での協力もあるが資金面で苦しいので、「こは命の星」推進事業に申し込んだ。

体験合宿は全校児童が対象で、校内に宿泊し日頃家庭でできない体験を親子ですることとを目的に開催している。時間帯での参加もでき、約9割の児童と父親も含め多数の保護者が参加した。地域の方がそれぞれの得意分野で講師と



達人の技!石割り体験



杉田プロデューサーのあいさつ

なり、石割り体験、自然探索川遊び、伝統文化(皿回し)教室、語り部教室、星の観察、木工教室、昔の遊び体験などを行った。地域の女性たちが食事の世話(ソーマン流し)や食文化教室を担当した。

すべてが 命に繋がる

宮丸尚幸父親部長は「8年前から父親部で様々な活動(炭焼き小屋の作成、農業倉

グリーンカーテンで環境整備

豊後大野市立緒方中学校PTA

豊後大野市立緒方中学校PTA(小倉良勝会長 生徒数142名)に話を聞いた。「いのちのグリーンカーテン」を作ることに環境問題を多面的に学習する取り組みをしている。

緒方中の校舎は、教科教室型のユニークな造りである。オープンスペースで窓も大きく、夏季は朝から30度を超えることに苦慮している。そこでグリーンカーテンを育てることでその対策を行うとともに、地球温暖化問題に取り組みようと「こは命の星」推進事業に申し込んだ。



ここにグリーンカーテンができる

活動の主体はPTA総務だが、PTAや学校だけの作業は難しいため、学校支援地域本部事業を活用し地域の方も一緒に活動。昨年11月には車の作成、グランド整備などを行っている。父親と男性教員全員が父親部員(約50名)。昨年からは地域を巻き込んで活動している。子どもたちやPTA活動を地域の方に知ってもらう機会になっている。自然体験や伝統・文化などを親子一緒に学びながら継承していきたい。今回特別に始めた活動ではなく、これまでずっとやってきたことがこの事業の趣旨に繋がっている。子どもたちに生きることそのものを教えたい。今後は、いじめなど、相手の気持ちが分かる子どもに育てる取り組みも充実させるようにしたい」と話してくれた。

飼育で伝える 命の大切さ

大分市立長浜小学校PTA

大分市立長浜小学校PTA(緒方隆昭会長 児童数210名)に話を聞いた。ウサギの飼育を通して命の大切さを感じてもらおうと、老朽化したウサギ小屋の改修に取り組んだ。

作業は主に2月の土日(計6日間)を利用して行った。まず、子どもたちが小屋内の草むしりと土を出すことから始め、大人が外壁や網の撤去、コンクリート張り、木材防腐塗装、ウサギの部屋づくり、網張り、フェンス修理などの工程を行った。最後は飼育委員会の子どもたちが昼休みに

支柱となる竹の切り出しをした。今回は板を切断し専用プランターを作り、防錆剤を塗り、土と肥やしを混ぜて入れた(重機や道具類持参)。次の作業で生徒も一緒に植物を植える。

赤嶺照明校長は「今後は、生徒会、整備委員会が中心になり管理をしていくようになる。PTAも新執行部となるので、この事業と研修をどう繋げていくか、今後の課題である。温暖化やCO₂問題など地球環境についても学校行事や特別活動、道徳の時間の活動を通して考えさせたい。グリーンカーテンに加え、花壇を作り管理することも考えている」と話してくれた。

ふれあいで 心を育てる

作業は主に2月の土日(計6日間)を利用して行った。まず、子どもたちが小屋内の草むしりと土を出すことから始め、大人が外壁や網の撤去、コンクリート張り、木材防腐塗装、ウサギの部屋づくり、網張り、フェンス修理などの工程を行った。最後は飼育委員会の子どもたちが昼休みに

PTAが中心となり、長浜



地域の方の力を借りて



桜のつぼみがふくらみ始めた3月初旬、なつかしい人が学校に生まれ

昨年3月に中学を卒業したAさん。とても内気だった彼女がこやかに近況を話してくれました。

今、通っている学校にはいろんな人がいて、友だちもできたこと。勉強も難しいところもあるけれど、将来は医療系の専門学校に行くために、今がんばっていること。学校まで遠いので大変なこともあるけど、毎日がとても楽しい。

大変だけど とても楽しい

いろいろなことがあったけれどそれを乗り越えて、彼女は自分の進むべき道を見つけたことができたんだな、とうれしくなりました。今年も152名の生徒が巣立ち、自分の決めた道を歩きはじめました。壁にあたらないこともあるかもしれませんが、「大変だけど、とても楽しい」と来年の今ごろもいえることがあっても乗り越えることができるたくましさを持って、送り出すことができたのだろうか。そんな思いを持って過ごしています。

別府市立北部中学校 教諭 大畑 安子

20年度の取り組み

郡市別選考数(20年度推薦数)	中津市 3(0)	臼杵市 2(1)	豊後高田市 2(2)	津久見市 1(0)
宇佐市 3(2)	由布市 2(0)	別府市 2(2)	佐伯市 5(5)	
杵築市 2(1)	竹田市 2(2)	日出町 1(0)	豊後大野市 2(2)	
国東市 姫島村 2(2)	日田市 4(0)	玖珠郡 3(0)		
大分市 9(4)				

主な事業内容は、子ども全活動、エコキャップ命の運動(世界の人にワクチンを贈る)、「食育」の啓発、稲作栽培、蜜の里づくり、人と動物の絆を通して考える「いのち」の授業、マルチナショナルオーブンスクール(多国語学級勉強会)などがあがっている。

21年度は、新たに全県より募集し、24の事業を県Pで選考・決定する。郡市別選考数に達していない分も引き続き募集する。

生きる力は 思いの伝えあいから



しっかりと

向き合い 会話を

子どもにはたくましく育てほしい。そう願う反面、学力も気になる親心。生きる力をつけるには、家庭での取り組みも重要となる。教育内容も大きく変化する中での親の思いを取り上げながら、子どもの将来を見つめ、家庭でできることは何か、考えてみた。

昨年度、全国学力・学習状況調査の結果が公表され、大分県の学力について保護者の間で大いに関心を呼んだ。折りしも平成21年4月から、改訂された学習指導要領が一部実施されている。(資料①参照) 知・徳・体をバランスよく身につけ、生きる力をはぐくむことがねらいである。国際的に通用する人間の育成のために小学校5・6年から

外国語活動を始めると、さまざまな新しい内容が含まれている。はじめに、5・6年から導入される外国語活動について、感想を母親に聞いた。「小学校高学年からの英語の導入は賛成だが、国語の力をしっかりと身につけることが大事ではないかと思う。弟は中3の兄から英語は難しいと聞いているので、不安な表情を見せる。小学校で英語が嫌いになることもあるのかなと心配になる。でもALT制度もあり、楽しく勉強していると思うので、期待もしている」(小5の母親)

学習内容と 言語活動



遊びの中からもコミュニケーションが生まれる (写真と本文は関係ありません)

資料① 学習指導要領の主な改訂内容

- 授業時数の増加
 - <小学校> 1・2年生 週2時間増加 ※平成21・22年度は週1時間増加
 - 3～6年生 週1時間増加
 - <中学校> 各学年 週1時間増加
 - 言語の力をはぐくむ
 - ※国語をはじめ各教科等で、記録・説明・批評・論述・討論など、知識・技能を活用する言語活動を充実する。
 - 理数教科充実
 - ※小・中学校ともに授業時数を増加。観察・実験や反復学習などを充実する。国際的に通用するカリキュラムにするため、前回削除された内容を再び導入。例えば、小学校では台形の面積、中学校では二次方程式の解の公式、イオン、遺伝など。また、新たな内容として放射線など付加。(平成21・22年度は、補助教材が配布される。)
 - 外国語教育の充実
 - ※小学校5・6年生で英語を中心とした「外国語活動」を導入。外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験させ、慣れ親しませる。学校の判断により、今年度から導入している学校もある。
 - ※中学校では授業時数を増加し、聞く・話す・読む・書く力を総合的に育成。
 - 伝統や文化に関する教育の充実
 - <小学校> 古文・漢文の音読、国宝などの文化遺産の学習など。
 - <中学校> 伝統や文化の学習、近現代の歴史学習、男女共に武道の必修化。
 - 新しい時代に対応した教育の充実
 - 規範意識や他人を思いやる心をはぐくむ
 - 健やかな体を育てる
- ◎改訂の先行実施は、小学校・中学校とも平成21年度から。
◎改訂の完全実施は小学校は平成23年度、中学校は平成24年度より。(文部科学省資料より)

「英語は必要といわれながら、やっと小学校でも英語の授業が始まるのかという思い。他の教科と同じように、小1からスタートできればいいのと思う」(小4の母親) 次に、我が子の話し合い活

気を使う 話し合い活動

「娘は授業中、手を挙げて発表することがほとんどないという。間違っていたら恥ずかしい、他の人と反対の意見を言ったらどう思われるのか心配という気持ちが先に立つようだ。意見発表の機会が増えれば、娘も恥ずかしいという気持ちも減り、自信も出てくるのではと思う」(中1の母親)

この事例から、子どもともにも過ごす時間の中、会話を通して共通の話題が生まれ、

ふれあいから 広がる会話

そこで、親子共通の体験を通し、子どもにも積極的にかかわる父親の姿から見えてきた子育てのあり方を考えてみた。「小6の息子は習っていた空手で結果が出ず、悩み、目標を見失っている時期があった。そこで、自分も経験のあるテニスを一緒にやろうと息子を誘い、今では週2回スクールに通っている。子どもと一緒にテニスを始めてから、子どもだけじゃなく、親のがんばりだけでなく、親のがんばっている姿を見せたいと思ふようになった。自分のテニスの試合を見せたり、公園を一緒に走ることも始めた。親子で共有する時間が増え、学習面でも良い影響が出てきた。会話が増え、子どもが将来の夢なども話すようになった。テニスが親子のコミュニケーション手段にとどまらず、新たな興味・やる気に結びついたことが嬉しい」

子どもを見つめて

親も子どもスピード社会の中で時間に追われる毎日。慌しく過ごす中でも家庭でできることは何だろうか。

最近の新聞に、PTAに関する記事がありました。その中にはPTAは子どもの為にはずが役員の子どもたちは、しばしば犠牲になっているのではとありました。確かに夜の役員会、休日の研修会行事など、1年をおしてのPTA活動は、役員とそしてその家族にとつては、大きな負担かもしれません。

しかしPTA役員を引き受けて3年、我が家を振り返って、私自身最近子育てに余裕を感じています。いろいろな講演会参加や、

互いに成長

多くの人との出会いの中で何かが変わった気がします。子どもたちも私の居ない間に、自分の事はもちろん、自主的に家の事もやってくれています。家族は私がPTA活動をする事に對して、暖かく見守ってくれているし、協力もしてくれそうです。人それぞれ考え方が違いますが、我が家では決して犠牲になつてはいないと思いません。成長しているのだと感じています。これからも何事にもプラス思考で、子どもたちが成長してくれる事を願います。

豊後高田市立桂陽小学校 PTA副会長 後藤 和子

- 始めてみませんか
- ①子どもと会話をしよう。
 - ・学校でのでき事など何でもよい。
 - ②宿題や日記・読書の時、目をかけ、声をかけて。
 - ・必ずプラスの評価を。
 - ③メディアとの上手なつき合い方をさせよう。
 - ・携帯やゲーム・テレビの時間などを、親子で話し合せて決める。
 - ④子どもの心の安定のため、落ち着いた環境づくりをしよう。
- (県教委からのアドバイス)
- 互いの理解が進んだ親子の関係がうかがえる。
- そして、何よりも子ども自身が自分を見直し、新たな興味・関心を持ったことが注目される場所だろうか。
- 自分の成長を自ら確かめられ、さらに、家族から見つめられることがからみ合って一層、伸びていくのだろうか。
- また、自分の子どもが興味や関心に改めて目を向けることに、新たな学習内容について把握することも大切ではないだろうか。
- さらに、子どもの様子や学校での出来事に気を配り、子どもをしっかり見つめて受けとめることは、言うまでもないことだと考える。

さあ来い! リスク。

安心のゴールキーパーでありたい。
 リスクとトータルに戦う
 総合保険ブランド[GK]
 |クルマの保険 | すまいの保険 |
 |からだの保険 | 生命の保険 |



三井住友海上グループ
 MSIG

三井住友海上火災保険株式会社
 〒104-8252 東京都中央区新川 2-27-2
 www.ms-ins.com

副会長 藤本 友則
 日田市連合育友会

ネットワーク 16 報
 村 PTA
 (16は県下都市等R連の数)

日田市
 会員数 5797人
 学校数 42校

家庭教育はまはるくつむひなり
 はじめる親がはやくおぼやかりな
 日田市連合育友会

日田市連合育友会は市町村合併によって、日田郡PTA連合会と日田市連合育友会が合併して発足しました。平成17年1月より計3回の合併委員会を開催し、日田市を8ブロックに分け、各ブロックより1名の役員を選出することや、新しい会則などを決定しました。3月18日には合同の臨時総会を開催し、会則などの承認を受け新生日田市連合育友会としてスタートしました。平成20年度現在、小学校30校・中学校12校で、日田市連合育友会の会員数は5797名です。



実り多い研修会

研修会を新たな形式に

合併後、総会や教育振興大会や指導者研修会などを実施してきました。特に指導者研修会においては、指定した小・中学校の育友会(PTA)が3つの分科会において活動などの発表をし、それについて意見交換するという従来通りの形式で実施してきました。しかし、平成20年度は、ワトソン会長の提案により、今ま

その結果、兼手小学校育友会が、平成19・20年度文部科学省指定コミュニティスクールということで、「学校・家庭・地域の響きによる、夢が広がる地域学校づくり」と題して、「伝統文化コミュニティ」「自然文化コミュニティ」など4つのコミュニティについて発表しました。地域と密着した学校づくりの様子が発表され、全会員にとって収穫の多い指導者研修会となりました。

さらなる進化をめざして

での、発表のために活動を分科会で発表するという形式を取り止め、発表内容のある小・中学校育友会(PTA)が発表を行う形式に改められた。

第24回 日中友好「少年少女の翼」

貴重な体験 翼にのせて

僕は、日中友好の翼に参加して本当によかったと思います。全国から集まったみんなと毎日楽しく過ごしました。そして、中国の友人は、英語がペラペラで、僕はWhat?という状態でしたが、ジェスチャーと筆談でなんと



楽しかった6日間

英語力に驚き

竹田市立南都中学校
 2年 後藤 優太

日P主催の第24回日中友好「少年少女の翼」が3月27日から31日の5日間にわたり実施された。両国の友好親善を深め、歴史、文化を学び、国際化社会にふさわしい心豊かな青少年の健全育成を図ることを目的に交流を続けている。今年も県内から2名の中学生が参加。感想を寄せても

似通う文化に興味

豊後高田市立真玉中学校
 2年 瀬口 愛美

私は日中友好「少年少女の翼」に参加できて本当によかったと思います。最初は不安でいっぱいでしたが、だんだんと友達ができ、とても楽しい旅ができました。太極拳や水墨画などを体験して、日本文化と似ているところもあり、おもしろいと思いました。



「いろんな体験できたよ」

親から子に伝える... 梅仕事の月

6月は梅干しや梅酒、梅ジャム、梅ジュースなど出盛りの青梅で1年中食べられる保存食を作る月です。蒸し暑くなると雑菌が繁殖しやすくなります。そこで、腐敗を防ぐ殺菌力・解毒力の強い梅干しや酢を上手に活用し、お腹を元気にして食中毒を防ぎましょう。また、これらの酸味の主成分であるクエン酸には、体内の疲労物質の分解を促進させて疲れをとる働きがあります。昔から伝わる知恵を活用して、梅雨を迎えてみませんか。

反抗期 どう接したらいいの? @

今、こどもの世界は?

時期が、12月のはじめだったので、何かの本で見て不思議な感じがしてきました。

か会話が成り立ちました。この事であらためて英語の重要性を感じました。また、万里の長城は思っていたよりも急でも長く坂がとて急でした。

6日間という短い期間でしたが、貴重な体験ができました。日本とは違う文化にふれ日本の文化のよさを感じました。こんなすばらしい体験をさせていただき、ありがとうございました。



固い餅を火にかけて焼くと、ふつくと膨み、この様子が絵本では誇張されて描かれ、何段にも膨れた絵を見た子どもにとって興味津々のものです。季節外れの話ですが、あるおばちゃんの話です。

「おかあさんに聞いたの?」と尋ねると、「そんなこと知らん!」と、けんもほろろの対応だったようです。「わかった。でも、少し時間をおこうだ!」

子どもたちは、実物を見て喜んだということですが、おばちゃんも、聞いてくれたことが一番だったかもしれせん。

1面コラム欄は昨年度より引き続き「研北寸心」です
 筆者紹介
 氏 名 牧 泰正(泰正)
 生年月日 昭12年4月5日
 国東市在住
 ○元大分市立南大分小学校長
 ○NPO法人・県書連顧問理事
 ○県美協名誉会員
 ○謝書道芸術院評議員・九州支局長
 ○大分合同新聞文化教室講師
 ○泰清書道館主宰

定期総会
 7月3日(金)
 幹部研修会
 8月30日(日)
 全単位PTA
 会長研修会
 県P連補償制度
 ・PTA安全補償
 ・自転車安全補償
 ・育英補償
 お問い合わせは
 ☆保険請求先
 (有)トータルアシスト
 0120(112)357
 ☆制度全般については
 大分県PTA連合会事務局
 097(556)9055

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介します。
 大村さゆり 丸木稲子
 指原里佳 竹本留美子
 檜山千鳥 堀田由紀
 小野江美(新)高橋時子(新)
 (顧問) 岩尾淳一
 多くの方のご協力あつての紙面づくり。今年度もよろしくお祈りします。
 ▼時間のゆとりより心のゆとり、自分磨きを忘れずに。
 ▼思いを伝えることの難しさを実感。一生、勉強です。ね。
 ▼新役員 人選難航 策が尽き つれあい担ぎ出す始末。

編集後記
 編集後記